

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 ( 新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持 )

<b>1 事務事業の基本情報</b> <small>位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。</small>											
事務事業名	坂野家住宅運営管理経費			補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当係	文化	係	作成者	宮本 欣英	内線(電話番号)	8430	シート作成日
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市文化財保護計画)			根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 文化財保護法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市文化財保護条例, 常総市風土博物館条例)						

<b>2 事務事業の目的</b> <small>当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。</small>															
現状課題	坂野家住宅は、平成10年に坂野氏より建物および周辺敷地を譲り受け、平成12年4月より北海道風土博物館坂野家住宅として広く一般に公開している。平成15～17年度にかけて主屋保存修理事業と表門茅葺替工事を実施し平成18年4月からリニューアルオープンして現在に至っている。 当住宅の屋根の茅葺は、日常的に燻煙を行うことで長寿命化が図られるが、管理運営上、燻煙の機会が限られてしまっていることから、一般的な寿命(15～20年)と比べて短く、平成23・29年度に差茅補修を行っている。全体的に茅の傷みが目立ってきており、国補助事業による大規模な葺き替えが近いうちが必要である。						誰・何を対象に		市内外の来館者		望ましい状態	来館者がきちんと整備されている施設を見学または使用できる環境を常時提供し、何度も訪れたくなるようなイベント等を開催し続けることが望ましい状態であり、加えて国指定重要文化財の維持保存が果たされている状況が理想と考える。			
							どのような方法・手順で		敷地内の施設を一般公開し、見学・使用に対応する						

<b>3 事務事業の主たる成果指標</b> <small>数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。</small>												
指標名	風土博物館坂野家住宅入館者数	単位	人	目標値	13,000	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	多くの方に来ていただくことが公開の趣旨であるため入館者数を成果指標名とし、目標値については、総合計画に記載のものを設定した。			

<b>4 事務事業の実績 ㊦</b> <small>当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。</small>															
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度						
	業務名				業務名				業務名						
	活動量				活動量				活動量						
事務事業を構成する主な業務	① 来館者の受付・案内	317日			① 来館者の受付・案内	317日			① 来館者の受付・案内	317日					
	② 施設内の除草・清掃	359日			② 施設内の除草・清掃	358日			② 施設内の除草・清掃	358日					
	③ ひな人形等の季節展示	2回			③ ひな人形等の季節展示	2回			③ ひな人形等の季節展示	2回					
	④ 駐車場敷地借り上げ	1カ所			④ 駐車場敷地借り上げ	1カ所			④ 駐車場敷地借り上げ	1カ所					
	⑤				⑤ 機械警備導入工事	1回			⑤ 主屋茅葺屋根差茅修理	1回					
	⑥				⑥				⑥						
	⑦				⑦				⑦						
	⑧				⑧				⑧						
	⑨				⑨				⑨						
	⑩				⑩				⑩						
	⑪				⑪				⑪						
	⑫				⑫				⑫						
目標値に対する実績値		9237 人		目標値に対する実績値		8260 人		目標値に対する実績値		8475 人					
決算額	計	9,295,791 円	内訳	特定財源 1,755,650 円	一般財源 7,540,141 円	計	10,163,153 円	内訳	特定財源 1,795,950 円	一般財源 8,367,203 円	計	8,686,000 円	内訳	特定財源 2,842,850 円	一般財源 5,843,150 円
	(住民一人あたりの行政コスト)		150 円		(住民一人あたりの行政コスト)		167 円		(住民一人あたりの行政コスト)		144 円				

<b>5 担当者評価 ㊦</b> <small>実施したことによる成果や問題点を記入してください。</small>											
成果	目標未達成	減少し続けていた入館者数については、いったん下げ止まったが、施設管理者の努力により、近隣のバラ園などの相乗効果によるものと考えられ、目標の数値に達するためにはいろいろ足りない部分があると考えられる。一方でロケによる使用料は著しく伸びており、その効果で今後の来館者が増えることを期待したい。									
	問題点	全体的に施設に傷みが出てきており、近いうちに大規模な修繕が必要と考えるが、文化財の修理は時間がかかるため、来館者への対応を十分に検討する必要がある。 現状では、予算のほとんどが公開のための人件費と施設の維持管理費に充てられており、来館者を増やすためのイベント等の事業を行う余裕がない状況である。									

<b>6 担当部長及び担当課長評価 ㊦</b> <small>担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。</small>											
事務事業の方向性											
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由	坂野家住宅の魅力発信し、集客のための努力が必要であり、来館者や利活用者の増加を図るため拡充としたいところであるが、現状の予算規模での実現を目指し、現行どおりとした。ただし、茅葺屋根の葺替工事が必要であり、この点を含めて拡充と評価している。										

<b>7 実施計画 ㊦</b> <small>今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。</small>												
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度			
	事業内容				事業内容				事業内容			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者の受付・案内の委託 臨時職員及びシルバー人材センター派遣職員の2名体制により対応 繁忙期についてはシルバー人材センター派遣職員を1名増員し、3名体制で対応</li> <li>施設内の除草・清掃 敷地内に来館者用トイレが2カ所(建物内1, 建物外1)あるため清掃は1年を通して対応 剪定、枝下ろしは専門業者に委託しているが、除草については随時シルバー人材センター派遣職員が対応</li> <li>ひな人形等の季節展示 2～3月 ひな人形 4～5月 五月人形</li> <li>駐車場敷地借り上げ 敷地南西側の砕石敷きの大型専用駐車場を借地</li> <li>主屋及び表門等修繕工事 傷みの著しい茅葺屋根の外、平成17年度の解体工事で降、不具合の出ている箇所の修繕を実施 (主屋・表門については国補助金希望申請中、補助率1/2、工期15カ月(H31～32事業)) また、国庫補助事業にあわせて、その他の危険箇所の改修工事</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者の受付・案内の委託 臨時職員及びシルバー人材センター派遣職員の2名体制により対応 繁忙期についてはシルバー人材センター派遣職員を1名増員し、3名体制で対応</li> <li>施設内の除草・清掃 敷地内に来館者用トイレが2カ所(建物内1, 建物外1)あるため清掃は1年を通して対応 剪定、枝下ろしは専門業者に委託しているが、除草については随時シルバー人材センター派遣職員が対応</li> <li>ひな人形等の季節展示 2～3月 ひな人形 4～5月 五月人形</li> <li>駐車場敷地借り上げ 敷地南西側の砕石敷きの大型専用駐車場を借地</li> <li>主屋及び表門等修繕工事 傷みの著しい茅葺屋根の外、平成17年度の解体工事で降、不具合の出ている箇所の修繕を実施 (主屋・表門については国補助金希望申請中、補助率1/2、工期15カ月(H31～32事業)) また、国庫補助事業にあわせて、その他の危険箇所の改修工事</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者の受付・案内の委託 臨時職員及びシルバー人材センター派遣職員の2名体制により対応 繁忙期についてはシルバー人材センター派遣職員を1名増員し、3名体制で対応</li> <li>施設内の除草・清掃 敷地内に来館者用トイレが2カ所(建物内1, 建物外1)あるため清掃は1年を通して対応 剪定、枝下ろしは専門業者に委託しているが、除草については随時シルバー人材センター派遣職員が対応</li> <li>ひな人形等の季節展示 2～3月 ひな人形 4～5月 五月人形</li> <li>駐車場敷地借り上げ 敷地南西側の砕石敷きの大型専用駐車場を借地</li> <li>主屋及び表門等修繕工事 傷みの著しい茅葺屋根の外、平成17年度の解体工事で降、不具合の出ている箇所の修繕を実施 (主屋・表門については国補助金希望申請中、補助率1/2、工期15カ月(H31～32事業)) また、国庫補助事業にあわせて、その他の危険箇所の改修工事</li> </ul>			
予算額	歳出	計 7,894 千円			歳出	計 62,582 千円			歳出	計 62,471 千円		
	歳入	特定財源 2,300 千円			特定財源 28,894 千円			特定財源 28,838 千円				
		一般財源 5,594 千円			一般財源 33,688 千円			一般財源 33,633 千円				
		計 7,894 千円			計 62,582 千円			計 62,471 千円				

<b>8 財務アドバイザーの見解</b>											
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。											

<b>9 行政改革懇談会(市民)の意見</b>											
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。常総市の歴史的財産であり、今後も適正な維持管理と活用は重視するべきである。リピーターの確保は難しいと思われるが、新たなイベントを開催しようとすると時間と予算がかかることから、例えば、小学1・2年生の春の遠足等の会場として設定してみたいかがか。坂野家住宅は非常に評判のよい施設であるため、そのポテンシャルを最大限にいかしていただきたい。											

<b>10 最終評価(行政改革推進本部) ㊦</b>											
事務事業の方向性											
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由	坂野住宅の積極的なPRと利活用を考え、常総市の集客施設として確立すべきである。幕末から明治初期にかけて近隣の名主層がここに集まり、地方文化サロンを営んだ事実を踏まえ、文化発信の拠点としながら、FC活動も活発化すべきである。										

<b>11 事務事業の改善理由 ㊦</b> <small>実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。</small>											
事業内容	日常的な維持管理については、現行予算の中でさらなる集客増とFCの積極的な受け入れを進めていく。利活用を中心とする建造物については、国指定重要文化財の主屋、表門が平成17年度に竣工した保存修理事業後、15年近く経過して茅などの部材の劣化が著しいことから国庫補助を受けて改修することを目指し、あわせてそのほかの経年劣化の著しいところについても改修を進める。										